

第1項

良好な景観形成



目 標	都会的な雰囲気と福山の歴史や文化、自然を感じることができるまち	
数 値 目 標	電線類地中化の総延長	2005年 6,500m
		2011年 7,050m

取り巻く環境(現状と課題)

魅力的な景観づくり

本市では、これまで電線類地中化や入江をイメージした福山駅前のシンボルロード、松永地区クリークなどを整備し、魅力的な景観づくりを進めています。

歴史・文化・自然との調和

ばら、福山城、鞆の浦、芦田川、阿伏兎観音、神辺本陣など、福山の資源を活用し、歴史・文化・自然と調和した景観づくりを計画的に進めることが必要です。

自主的な景観づくり

まちの美しさは、地域の財産です。そのため、市民の景観づくりに対する意識を高め、市民が愛着を持って自主的に景観づくりを進めていくことが必要です。



入江をイメージしたシンボルロード(電線類地中化) [船町北交差点付近]



鞆の町並み(鞆七卿落遺跡)



松永クリーク整備(遊歩道のある親水空間)



美しいまちなみ賞受賞(久松通り地区)

「目標」を達成するための取組

景観に配慮した快適なまちなみの形成

電線類の地中化を進め、快適なまちなみをつくとともに、屋外広告物などの規制・誘導を行います。

- 電線類の地中化
- 屋外広告物の規制・誘導

歴史・文化・自然を感じられる景観整備

歴史的まちなみや優れた自然景観と調和し、福山の個性を活かした景観づくりを計画的に進めます。また、活力ある都会的な景観の整備や快適なまちなみづくりを進めます。

- 景観に配慮したまちづくり
- 歴史的地区の整備・保存

景観形成への誘導・支援

景観づくりは、市民や事業者、行政が一体となって取り組む必要があるため、景観づくりに対する意識啓発などに取り組みます。

- 景観意識の啓発
- 景観に対する地域活動への支援

市民として



誇りの持てる地域の景観を守り育てましょう。

第2項

緑の保全と創出



目標 いきいきとした緑のあふれるまち

数値目標	公園に占める緑地面積(花壇,植え込みなど)が十分確保されている都市公園の割合	2006年	62.0%
		2011年	70.0%

取り巻く環境(現状と課題)

緑の減少

緑は、食料や木材の生産、災害の防止、美しい風景をつくるなど、様々な働きがあり私たちの生活に欠かせないものですが、都市化により減少しており、緑の保全活動が求められています。

緑とふれあえる場の不足

緑と身近にふれあえる場が不足しています。そのため、子どもや高齢者など、だれもが緑と親しみ安らげる場の提供が求められています。

管理が行き届いていない農地などの増加

農業や林業の仕事をする人が減り、十分に手入れがされていない農地や森林が増加しています。



市役所の屋上緑化の風景

「目標」を達成するための取組

緑の保全・活用

緑豊かな森林,農地の育成や保全に努め,いきいきとした緑を守ります。

- 緑地・農地の保全と有効活用

緑の創出

身近な公園などの整備や公共施設の緑化を進めるとともに,緑化啓発,樹木配布などを行うことにより,市民と一体となった緑の創出に努めます。

- 公園・緑地の整備
- 緑化の推進

緑化活動の推進

「緑の募金」活動を通じ,市民の緑化意識を高めるとともに,小・中学校での緑化活動の支援や地域住民による森林・里山の緑化整備を支援します。

- 花と緑のまちづくり



春日池公園

市民として



身近な木々や草花を大切に,庭などで草花を育てましょう。